



内灘高だより

令和5年度
第3号



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

NO. 1

石川県高等学校総合体育大会・総合文化祭 (6/1~4)



北信越高校体育大会 自転車競技

6/16(金)~18(日) 富山競輪場 他

★ 北岡 マリア(3年) ★

- ・500m タイムトライアル **優勝**
- ・2km インディヴィデュアル・パーシュート **優勝**
- ・ロードレース **優勝**

★ 山下 翔太郎(3年) ★

- ・スプリント **優勝**
- ・1km タイムトライアル **優勝**

報告

総体・総文が県内各会場でおこなわれ、本校から6つの競技に出場しました。どの部活動も、試合では粘り強く練習の成果を発揮していました。生徒は大会での経験から課題を持ち、次の目標に向け日々の練習に取り組んでいます。総体の結果、自転車競技部が北信越大会の出場を決め、さらなる活躍が期待されます。(大会結果の詳細はHPに掲載)

1年薬物乱用防止教室(6/7)

津幡警察署生活安全課の新出美優氏と学校薬剤師の金田孝子氏を講師に迎え、近年、違法薬物の乱用が拡大している現状について学びました。生徒は犯罪に巻き込まれないように身を守ること、有害な物に気を付けるなど正しい知識を学びました。



金田氏 新出氏

内灘町役場表敬訪問 (6/20)



山下翔太郎(3年港中学校出身)と北岡マリア(3年星稜中学校出身)は川口克則町長に北信越大会の結果を報告し、8月に北海道函館競輪場でおこなわれるインターハイでの力走を誓いました。

全国高校総体自転車競技 **頑張れ!**
令和5年8月6日~9日(北海道函館競輪場)



2年思春期講座

2年生は思春期講座「性被害をなくすための出前講座」と題して、性暴力の当事者にならないための意識行動やその対応について学びました。

講師:石川県民文化スポーツ部男女共同参画課相談員 新路子氏

社会人講話① (6/14)



~魅力ある社会人になるために~

各分野で活躍している卒業生の方を講師にお招きし、「社会人として身に付けておくべき事柄」や「いま何をすべきか」など、講師の体験をもとに様々な角度からお話をいただきました。生徒は将来の自分を想像し、今やるべきことを考えるよい機会となりました。



内灘高だより

令和5年度
第3号



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

NO. 2

1年思春期講座 (6/21)

思春期のからだの正しいケアの方法や、性別で分けられないところやからだを持つLGBT、デートDV、性感染症、妊娠について学び、今後の自分らしい生き方を見つける良い機会となりました。

「大切なあなたのことを話そう」



講師：川島真希氏

まき助産院(助産師・思春期保健相談士・社会福祉士)



講師：中川善文氏((株)中善工務店)：高森亜美氏(Amie by oasis)

：塚本泰央氏((株)富士タクシー)：英利騎氏(焼肉酒場 力)

地元企業の魅力や町で働くやりがいなどを聞き勉強になりました!

吉村青年部部长



3年進路(就職・進学)ガイダンス (6/21)

就職希望者はジョブカフェ石川で、就職試験を想定し模擬面接をおこない、内定をいただくための基本的対応について学びました。



進学希望者は学校で、分野別学校比較説明会のあとライセンスアカデミー様を講師に模擬面接をおこないました。生徒は内容をまとめ伝えることの難しさを体験しました。



自転車乗車マナー県下一斉指導 (6/22)



海浜千鳥台交差点や学校周辺5ヶ所の交差点、生徒玄関でPTA、警察官、交通安全推進隊の方々、生徒会役員、教職員の参加で自転車乗車マナーや交通安全の指導、挨拶運動をおこないました。

先輩訪問

現在、内灘町内に2つある保育所で頑張っている同窓生のおふたりを紹介します。

(平成2年(1990年)3月卒業・第3期)岡田順子さん
内灘町立向粟崎保育所所長 (保育士)

中井和美さん (平成3年(1991年)3月卒業・第4期)
内灘町立北部保育所所長 (保育士)



小さい子どもが好きで、将来は保育士になりたいと思い、高校では保育士になるために必要なことを調べ勉強しました。石川県立保育専門学園を卒業後、内灘町で保育士として働き、毎日、子どもの純粋な心に触れあうことができ、子どもたちの成長を近くで見られることに魅力を感じています。所長として8年目を迎え、保護者や子どもたちが安心して通える保育所づくり、職員の働きやすい環境づくりができるよう工夫しています。子ども達には、いろんなことを経験し、経験の中から自分の好きなことを見つけしてほしいと思います。



小学校6年生の頃に近所の家の赤ちゃんを抱っこした時に、とてもかわいかったことがきっかけで、保育士を目指すようになりました。

実際に保育士になることができ、毎日かわいい子どもたちと過ごせることに幸せを感じています。北部保育所では地域の方にご協力いただき、菜園活動をおこなっています。隣接する畑で季節の野菜を育て、給食で食べるという食育の実践など、素晴らしい環境で伸び伸び保育をしています。所長になり3年目で、地域の方々や職員に支えられながら、チームワークで安心・安全な保育をすることを目指しています。



お二人に将来の夢を聞いたところ、「成長した子どもたちがいつでも立ち寄れるような保育所づくり。また、保育士として働く後輩が悩んだ時に話を聞けるような場所をつくること」と同じ夢でした。保育士の仕事は大変だけど、保育士でしか得られない楽しさや喜びを知っているからこそ、後輩保育士を心から応援したいというお二人の気持ちが伝わってきました。